

歴 史 書

5

2013

No. 207

Largo (♩ = 60) (4/4)

追
悼
の
歌

作
曲
佐
野
隆
夫
子

通 信

民衆の音楽を求めて 吉田隆子の抵抗 / 荻野 富士夫

歴史書新刊ニュース 〈3・4月〉

歴史書以外の人文社会図書新刊案内 〈3・4月〉

2013年歴史書ベストフェア出品 / 参加書店一覧

歴懇リバイバル2013年フェア出品書目一覧

歴史書懇話会

民衆の音楽を求めて

——吉田隆子の抵抗——

荻野 富士夫

(小樽商科大学教授)

「吉田隆子を知っていますか」

昨年九月、NHKのEテレで「吉田隆子を知っていますか～戦争・音楽・女性～」が放送され、この女性の戦時下の抵抗に静かな深い共感が寄せられた(その後、二度の再放送)。特高警察による四度の検挙・検束と勾留の意味について意見を求められた私は、吉田隆子についてにわか勉強をするなかで、実は近年の私の主題である「小林多喜二」に近接している人物であることに気づいた。

何より隆子は日本プロレタリア音楽同盟(PM)の一員として、多喜二虐殺後、築地小劇場で開催を予定された全国労農葬に向けて「小林多喜二追悼の歌」を作曲(ペンネーム吉原澄)していたのである(作詞は佐野嶽夫)。自らこの作曲を「恥ずかしい作品。ダイナミズムのない音楽」と評したものの、隆子は多喜二が託した「火を継ぐもの」(小説「地区の人々」の副題)の一人として、プロレタリア文化運動が壊滅させられ、戦争に邁進していく状況のなかで、音楽の場を通して「火を継ぎ」、民衆の音楽を求めつづけた。

PMへの遅れた参加

1910年、軍人(陸軍中將として退役)吉田平太郎の次女として東京に

生まれた隆子は、恵まれた環境のなかで日本女子大学付属高等女学校に学ぶ。幼いころから琴やピアノを習い、自然と音楽の道に進んだ(映画評論家飯島正は実兄)。

音楽活動を進めるなかで「芸術の主題性と社会性の問題」に直面した隆子は、中野鈴子(重治の妹)の詩「鉄」に曲をつけたことを契機に「作曲という仕事の新しい社会的意義」を自覚するようになり、1932年4月、PMに参加した。それはプロレタリア文化運動の最高揚期かつ運動全般への弾圧が本格化するさなかでの遅れた参加であり、苦難の道を自ら選びとるものとなった。PMのなかでは数少ない作曲家として、運動の中心部に押し上げられていき(PM東京支部書記長・支部長代理)、33年8月には国際反戦デーのデモに加わり、最初の検束・勾留を経験する。

PMへの参加当初の「アンコールを望む手拍子足拍子の昂奮」が静まると、そこには「そのイデーと手法の矛盾、創作方法の混乱、観念と情緒とのひらき等」を痛感せざるを得ず、「かつて生身を裂かれる想いでわかれた師や友の道の方に、その新しい目的のために汲みとらなくてはならない多くの糧がある事」(隆子「リ

アリズム音楽の探求』『音楽の探求』、1947年)を再認識する。そうした苦闘と模索を経て、隆子はプロ文化運動壊滅後の新たな展望を切り開いていく。

楽団創生の創設と実践

のちに生活を共にする久保栄の語るころによれば、34年のPMの事実上の解散後、「新しいリアリズム理論ののつとる音楽団体の再建までの仕事が、ほとんど吉田の肩ひとつにかかるように見うけられた」(増補版『音楽の探求』「あとがき」、1956年)。久保が「芸術における抵抗運動の一単位」と呼ぶ音楽団体が35年10月、隆子を中心に創設された「楽団創生」である。久保「火山灰地」などの劇音楽の作曲とともに、楽団創生による4回の音楽会に隆子の音楽活動の本領が発揮された。この楽団には多喜二の弟三吾もバイオリニストとして加わる。

楽団創生は「新時代の現実を反映し、形式に於いては、我々の民族的伝統の上に立つ進歩的音楽の創造に、一路邁進する」(創立声明書)ことをめざした。隆子自身の言葉から引けば、「一、吾々をとりまくこの新しい現実を音楽的形象にうたい上げる事、という事は、勤労する者の立場に立った生活感情の流露をオクターブ高くひびかす様な作曲に邁進しなければならないし、二、これの達成のための理論的糺明を一音楽のリアリズムに就いての正しい方法論の確立に力をそそがねばならない」(第1回音楽会パンフレット、36年11月)とした。民衆のための、日本

の伝統に根ざした「新しいリアリズムの根本精神」に貫かれた音楽を作り出すことが隆子の念願だった。後年、「反ファシズムの思想のために囚われて」(「リアリズム音楽の探求」と回想するように、それは人民戦線的な性格を有しつつ、ファシズムに真っ向から抗し、抑圧を覚悟する道であった。

楽団創生の実践は具体的には「古典の再批判的演奏」と「新しい創作」に向けられた。

前者でとくに際立つのは、第2回音楽会(38年3月)にドワイヤンのオペラ「自由の勝利」を取り上げたことと、第4回(39年9月)を「ムソルグスキー生誕百年祭」としたことである。ドワイヤンは「民衆と音楽とをしっかりと結びつけ」、「古典音楽の民衆への普及、現代の新しい質の音楽の普及、過去に於けるフランスの民謡や大衆歌の再演等」(『音楽世界』、38年3月)を先駆的におこなったフランスの作曲家である。ムソルグスキーは、「彼をとりまく現実のさまざまな庶民の生活の反映を一庶民の音楽的言語で描き得たロシヤにおける最初の作曲家」(第4回パンフレット)であった。

特高警察による四度目の検挙と勾留

これらの「古典の再批判的演奏」を経て、「我が国に於ける音楽の伝統的な形式によって、現在の私達の生活感情を意欲的に描き出す作曲、演奏の基を礎かなければならない」と本格的な「新しい創作」に踏み出そうとした矢先の1940年1月、隆子を四度目の検挙が襲った。唯一の合法



クリティーク80編著『吉田隆子』（現代日本の作曲家2）（音楽の世界社、1992年）
辻 浩美著『作曲家・吉田隆子 書いて、恋して、闊歩して』（教育史料出版会、2011年）

文化運動とみなされた同年8月の新協・新築地両劇団の主要関係者（村山知義・久保栄ら）の一斉検挙と解散の前哨戦ともいべきこの検挙は、特高が隆子の戦争への抵抗の姿勢を勘鋭く嗅ぎつけたからにほかならない。

6月、重症の腹膜炎となってようやく釈放されたとはいえ、その後数年間、病床に伏さねばならなかった。帰宅からまもなく追い打ちをかけるように久保栄が検挙・起訴となり、大きな「精神的打撃」を受ける。しかし、戦時下においても隆子は非転向を貫き通した。たとえば、45年8月の日記に「終戦の詔書」やポツダム宣言を書き写し、東久邇内閣の顔

ぶれを筆記するように旺盛な社会的な関心を持ちつづけた。

「君死にたもうことなかれ」の作曲とオペラ化

戦時下の病臥のなかでも、「私も日本の民衆の心に豊かにうったえかける様な音楽を、吾々の土の上に花咲かせたいとひそかにねがった」（『帝劇』、1947年3月）隆子は、戦後の文化運動の進展の遅さにもどかしさを募らせた。ようやく健康が回復すると、楽団創生の再建をもくろみ（未実現）、与謝野晶子の詩「君死にたもうことなかれ」に曲をつけるなど、社会的な音楽活動を再開する。さらに「君死にたもうことなかれ」のオペラ化を試みるが、早すぎる死はそ

の実現を阻んだ。

隆子の46年の生涯でめざされたものは、「近代日本の民族的定着の小さな花「荒城の月」を未来形に、フランス民衆の熱誠を反映した「マルセイエーズ」の発展を、うけ継ぐような作品を、わが土壌の上に咲かせたい」(「リアリズム音楽の探求」というこ

とにあった。音楽をつうじて多喜二の「火を継いだもの」の確かな一人が、吉田隆子であった。

(表紙写真) 『働く婦人』1933年3・4月号に掲載された楽譜

加曾利貝塚

〔日本の遺跡46〕

—縄文東京湾東岸の大型環状貝塚—
村田六郎太著 四六判・一七四頁・一八九〇円
全国有数の大型貝塚で、土器編年の指標遺跡でもある本遺跡について最新の調査成果をもとに紹介。

川柳旅日記 その二

〔江戸時代史叢書30〕

—京・伊勢そして西国を巡る—
山本光正著 四六判・三八四頁・三九九〇円
江戸時代の旅日記と川柳から当時の「旅」を鮮やかに描く。東海道と中山道を網羅した完結編。

川柳旅日記 その一

〔江戸時代史叢書29〕

—東海道見付宿まで—
山本光正著 四六判・二四二頁・二五二〇円

江戸・東京の大地震

野中和夫著 四六判・三六四頁・三九九〇円
発生メカニズムが同じとされる元禄大地震と関東大地震など大地震の記録史料を詳細に検証する。

東京国立博物館所蔵

骨角器集成 2

—鹿角製刀剣装具篇—

東京国立博物館編 B4判・九六頁・一二六〇〇円
実測図と写真を大きく掲載し、詳細な解説を付す。

建築考古学の実証と復元研究

浅川滋男著 B5判・五二〇頁・一二六〇〇円
縄文から近世の建築遺構を綿密に検討し、その困難な復元研究に取り組んだ永年の成果をまとめる。

同成社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 (価格は税込み)
TEL03-3239-1467 FAX03-3239-1466 振替00140-0-20618
http://homepage3.nifty.com/douseisha E-mail douseisha@nifty.com



新刊ニュース

3・4月発行図書 *発売は予定のものもあります

考古学

概論・通史/日本/アジア/ヨーロッパ/アフリカ/アメリカ/その他

加曾利貝塚—東京湾東岸の大型環状貝塚

日本の遺跡46
村田六郎太著

四六判 180頁 1,890円 同成社〔4月刊〕

加曾利E式、B式土器により縄文時代編年の重要な指標遺跡たる本貝塚について、長年にわたる調査研究の概要と整備の様相を平易に解説する。 978-4-88621-624-3

東京国立博物館所蔵 骨角器集成2 鹿角製刀剣装具篇

東京国立博物館編

B4判 100頁 12,600円 同成社〔3月刊〕

同館所蔵の主に古墳時代の鹿角製刀剣装具について精緻な実測図と写真を大きな判型で掲載し、個々の資料の評価と詳細な解説を付す。 978-4-88621-633-5

土器から見た古墳時代の日韓交流

酒井清治著

A5判 320頁 6,300円 同成社〔3月刊〕

日本列島と朝鮮半島から出土する古墳時代の土器から、その製作技法の緻密な分析を通して日韓の人の移動・交流の有り様を示す。 978-4-88621-630-4

文化財学の新天地

奈良文化財研究所編

B5判 1,480頁 13,650円 吉川弘文館〔4月刊〕

奈良文化財研究所の創立60周年を記念し、多岐にわたる分野の研究員が執筆。遺跡・遺物の調査、都城に関する研究など83編を収録。 978-4-642-02408-2

弥生文化像の新構築

藤尾慎一郎著

A5判 292頁 9,975円 吉川弘文館〔4月刊〕

なかなか広まらない水田稲作や鉄器、意外と小規模だった弥生村など、AMS—炭素14年代測定が変えた新しい弥生文化像を提示する。 978-4-642-09329-3

中国渭河流域の西周遺跡Ⅱ

飯島武次編

B5判 244頁 8,400円 同成社〔3月刊〕

前作に続き黄河の本流・渭河北岸に展開する先周・西周遺跡をめぐり駒澤大学考古学研究室がまとめた2010～12年の調査報告書。 978-4-88621-634-2

日本史

概論・通史/史料/古代/中世/近世/近代/現代/地方史

中世の環境と開発・生業

環境の日本史3
井原今朝男編

A5判 338頁 5,040円 吉川弘文館〔3月刊〕

中世ではいかなる開発が行われ生業が発展したのか。資源の枯渇を防ぐための工夫などから、生活基盤を支えた自然環境の特質に迫る。 978-4-642-01725-1

鎌倉幕府滅亡と北条氏一族

敗者の日本史7
秋山哲雄著

四六判 244頁 2,730円 吉川弘文館〔4月刊〕

評定や引付、六波羅・鎮西探題など、北条氏が整備した機構を政治史とともに辿り、武家政権の礎を残した敗者、の評価に光をあてる。 978-4-642-06453-8

現代を読み解く歴史観

古田武彦著 古田武彦と古代史を研究する会編
四六判 370頁 3,150円 ミネルヴァ書房〔4月刊〕

九州王朝説などで知られる古代史家・古田武彦は日々何を考究するのか。古代史学説、近代史学批判、現代社会への提言など、多岐にわたるその論考を集成。第三卷では、近代史学にとらわれない視点から教育問題や原発論などに迫る。 978—4—623—06494—6

吉田清成関係文書5 書類篇1

京都大学文学部日本史研究室編
A 5判 586頁 20,475円 思文閣出版〔3月刊〕

京都大学日本史研究室が所蔵する「吉田清成関係文書」のほぼ全体を網羅するシリーズ。全体を七巻で構成し、本巻には書類篇を収録。 978—4—7842—1666—6

皇室制度史料 儀制 成年式三

宮内庁書陵部編纂
A 5判 390頁 12,075円 吉川弘文館〔3月刊〕

内親王・女王成年式の概要などを収めた儀制編成年式全3冊の第3冊。皇室に関する諸般の制度の歴史的沿革を明らかにする基本的史料。 978—4—642—01238—6

細川家の歴史資料と書籍

永青文庫資料論
森 正人・稲葉継陽編
A 5判 254頁 10,500円 吉川弘文館〔3月刊〕

細川家伝来の織田信長文書、和漢書の蔵書構成などのテーマから総合的に分析する。日本近世の国制上の基本単位、大名家の実像を探る。 978—4—642—01410—6

九州王朝の歴史学

多元的世界への出発
古田武彦著
四六判 410頁 3,675円 ミネルヴァ書房〔3月刊〕

『穆天子伝』、『新唐書』、稲荷台一号古墳出土物…。中国史書・国内史料・考古学的出土物など、多種多様な史料を精密に、そして総体的に検証し、新たな古代像を描き出す。真に実証的な歴史学とは何かを世に問う論文集。 978—4—623—06455—7

史料批判のまなざし

古田武彦著 古田武彦と古代史を研究する会編
四六判 370頁 3,150円 ミネルヴァ書房〔3月刊〕

九州王朝説などで知られる古代史家・古田武彦は日々何を考究するのか。古代史学説、近代史学批判、現代社会への提言など、多岐にわたるその論考を集成。第二卷では、ソクラテス論や南米倭人論などから、学究のあるべき姿勢を論じる。 978—4—623—06493—9

律令制とはなにか

日本史リブレット73
大津 透著
A 5変型判 100頁 840円 山川出版社〔3月刊〕

日本古代国家の枠組みを規定し、その後の日本の歴史の基礎となった律令制。最新の研究成果を踏まえてわかりやすく解説する。 978—4—634—54685—1

日本古代道路の復原的研究

木下 良著
A 5判 576頁 14,700円 吉川弘文館〔4月刊〕

駅家、郡家、交通関係の地名や条里遺構、地図、空中写真から古代道を探る方法を提示する。古代道路の第一人者の研究を集大成。 978—4—642—04605—3

日本古代の寺院・官衙造営

長屋王政権の国家構想
須田 勉著
A 5判 304頁 10,500円 吉川弘文館〔4月刊〕

藤原不比等の後を継いだ長屋王時代地方政策を、考古学から考察。多賀城・大宰府などの造営が、地方反乱を契機とすることを解明する。 978—4—642—04606—0

平安初期の文人官僚

栄光と苦惱
井上辰雄著
A 5判 320頁 8,400円 塙書房〔3月刊〕

嵯峨天皇について「弘仁の治」を継承した淳和・仁明天皇と僧正遍照、小野篁、紀夏井、南淵年名、橘原良基、藤原冬緒、菅原道真、紀長谷雄といった文人官僚の活躍と苦難を描く。 978—4—8273—1260—7

治承・寿永の内乱と平氏

敗者の日本史5
元木泰雄著
四六判 228頁 2,730円 吉川弘文館〔3月刊〕

西国武士は弱体ではなかった？ 敗北を必然とする『平家物語』等の通説的歴史観を克服し、知られざる源平合戦の真実に迫る。 978—4—642—06451—4

室町幕府管領施行システムの研究

亀田俊和著

A 5判 544頁 10,290円 思文閣出版〔3月刊〕

室町幕府を存続させた政策とは? 本書は室町幕府の政権基盤強化に大きな貢献を果たしたと評価できる管領施行システムの沿革と意義を分析・解明。 978-4-7842-1675-8

近世人の事典

深谷克己・須田 努編

A 5判 352頁 3,675円 東京堂出版〔4月刊〕

士農工商という枠組みだけではなく、近世の人びとの具体的な生き方を属性という概念でとらえなおした新しい視点の事典。項目数は151。 978-4-490-10833-0

戦国大名今川氏と葛山氏

有光友學著

A 5判 208頁 3,990円 吉川弘文館〔3月刊〕

権力編成や支配機構の実態から、動向やあり様に迫る。花藏の乱の新説、葛山氏=今川氏・北条氏の両属説など、通説に一石を投じる。 978-4-642-02912-4

東アジアのなかの琉球と薩摩藩

歴史科学叢書

紙屋敦之著

A 5判 320頁 9,450円 校倉書房〔3月刊〕

1429年、統一琉球王国が成立。1609年来薩摩藩支配下に置かれた琉球が、270年間にわたって王国を維持できた理由を、日・琉・中の三国関係のなかで検討。 978-4-7517-4440-6

アイヌと松前の政治文化論—境界と民族—

歴史科学叢書

菊池勇夫著

A 5判 420頁 10,500円 校倉書房〔4月刊〕

近世の国家的・民族的境界観念や蝦夷地観、幕府および明治政府の蝦夷地・北海道支配に関わる問題、アイヌの人びとの暮らしの環境変化を明らかにした。 978-4-7517-4450-5

プロイセン東アジア遠征と幕末外交

福岡万里子著

A 5判 448頁 6,090円 東京大学出版会〔3月刊〕

日本の「開国」を、プロイセンの東アジア遠征使節、オレインブルクを軸に徳川政権との通商条約締結交渉を明らかにするとともに、世界情勢の変遷のコンテクストの中に位置づける国際関係史。 978-4-13-026234-7

続 日曜日の歴史学

山本博文著

四六判 296頁 1,680円 東京堂出版〔4月刊〕

好評の『日曜日の歴史学』の続編。人気の天下人、信長、光秀、秀吉、家康の書状や文書から、生き生きとして斬新な戦国時代史を描き出す。 978-4-490-20825-2

危機と都市

年報都市史研究20

都市史研究会編

B 5判 192頁 3,990円 山川出版社〔3月刊〕

2011年の都市史研究会のシンポジウムを書籍化。特集の他、論文・研究ノート・新刊紹介・クロスロード・都市史を歩む・時評を掲載。 978-4-634-52748-5

身分的周縁と地域社会

史学会シンポジウム

塚田 孝・吉田伸之編

A 5判 320頁 4,410円 山川出版社〔3月刊〕

2011年の史学会大会でおこなわれたシンポジウムの成果。各地域社会における寺院・神社社会の位相を捉え、新たな近世社会像を描く。 978-4-634-52362-3

和親条約と日蘭関係

西澤美穂子著

A 5判 278頁 13,650円 吉川弘文館〔4月刊〕

和親条約成立の過程を西洋国オランダとの関係に着目し追究。ペリー来航に始まる欧米列強との接触と、対処に苦慮する日本の姿を探る。 978-4-642-03822-5

大久保利通 (ミネルヴァ日本歴史人物伝)

近代国家の建設につくした政治家

監修・安田常雄／文・西本鶏介／絵・篠崎三朗

A 8判 32頁 2,625円 ミネルヴァ書房〔3月刊〕

明治新政府で廃藩置県など様々な政策に力をついた大久保利通。その生涯を時代背景とともにつづる伝記物語と詳細な資料で紹介。総ルビ付きで幅広い学年で活用できるので、歴史や文化への理解力を養う調べ学習に最適。 978-4-623-06422-9

小村寿太郎（ミネルヴァ日本歴史人物伝）

列強と肩をならべた近代日本の外交官
 監修・安田常雄／文・西本鶏介／絵・荒賀賢二
 A B判 32頁 2,625円 ミネルヴァ書房〔3月刊〕

ポーツマス条約の調印や関税自主権の回復へ向けた条約改正など、明治時代の外交で活躍した小村寿太郎。その生涯を時代背景とともにつづる伝記物語と詳細な資料で紹介し
 ます。 978-4-623-06423-6

西田幾多郎

本当の日本はこれからと存じます
 大橋良介著
 四六判 400頁 3,360円 ミネルヴァ書房〔3月刊〕

「西田哲学」と呼ばれる独自の思想体系を構築した西田幾多郎。その「書簡」と「日記」と「短歌」から、これまで知られていなかった西田の内面史と人生軌跡が、そして西田を包む日本近代の激烈な現実が浮かび上がる。 978-4-623-06614-8

穂積重遠

社会教育と社会事業とを両翼として
 大村敦志著
 四六判 360頁 3,675円 ミネルヴァ書房〔4月刊〕

大正デモクラシー法学を代表する法学者として東宮大夫、最高裁判事を歴任した穂積。法を専門家の独占物とせず市民によって実現されるものと捉える法思想はいかにして生まれたのか。家族法学の開拓者の生涯に迫る。 978-4-623-06588-2

勝小吉と勝海舟

日本史リブレット人66
 大口勇次郎著
 A 5 変型判 104頁 840円 山川出版社〔4月刊〕

激動する維新期を前後にして、下層の御家人社会出身として苦闘した、親子二人の生き方をたどる。

978-4-634-54866-4

幕長戦争

日本歴史叢書69
 三宅紹宣著
 四六判 322頁 3,255円 吉川弘文館〔3月刊〕

兵力数・装備で勝る幕府軍を破った長州藩の勝因とは。戦闘状況や民衆の動向を分析。西欧列強との国際関係をふまえ総合的に解明する。 978-4-642-06668-6

江戸・東京の大地震

野中和夫著
 四六判 364頁 3,990円 同成社〔3月刊〕

発生のメカニズムが同じとされる元禄大地震と関東大震災や、明治三陸地震などの被害と復興の様相を詳細に検証。地震大国に生きる知恵を問う。 978-4-88621-625-0

遠山郁三 日誌 1940～1943

奈須恵子他著
 A 5 判 552頁 6,300円 山川出版社〔3月刊〕

戦時下の立教学院総長（兼立教大学総長）が、激変する大学内外の動向をつぶさに綴った執務の記録。一次史料として価値の高い一冊。 978-4-634-52016-5

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

秦帝國の形成と地域

汲古叢書108
 鶴間和幸著
 A 5 判 610頁 13,650円 汲古書院〔3月刊〕

秦帝国の歴史舞台を实地調査し、「史記」秦史の記述の由来を確認するとともに司馬遷の記述しなかった事実を発見する。

978-4-7629-6007-9

地域社会から見る帝国日本と植民地

朝鮮・台湾・満洲
 松田利彦・陳延媛編
 A 5 判 800頁 14,490円 思文閣出版〔4月刊〕

「支配される側」からの視点と、「帝国史」という視点——異なるレベルの二つの問題の有機的関連性を見いだすことを目的とした日文研共同研究会の成果。 978-4-7842-1682-6

朝鮮独立運動と東アジア

1910-1925
 小野容照著
 A 5 判 400頁 7,875円 思文閣出版〔4月刊〕

朝鮮独立運動はいかなる国際的要因のもとに展開していたのか。東アジア全体の社会・運動・思想状況との相互関係のなかで朝鮮独立運動を捉え直す試み。 978-4-7842-1680-2

日韓歴史共通教材 学び、つながる

日本と韓国の近現代史

日韓共通歴史教材制作チーム編

A 5判 224頁 1,680円 明石書店〔3月刊〕

近代の入口で列強の圧迫を受けた東アジアのなかで日本と韓国はどのような選択をしたのか。帝国主義国の仲間入りと植民地化という異なる道を選んだ2つの国。歴史を国家の視点からだけでなく、民の視点、地域の視点を重視して生徒と共に考える歴史副教材。 978-4-7503-3794-4

麻と綿が紡ぐイギリス産業革命

アイルランド・リネン業と大西洋市場

竹田 泉著

A 5判 252頁 6,300円 ミネルヴァ書房〔4月刊〕

本書は、綿業における工業化は突然に起こったものではなく、さまざまな国や地域との関わりをなかで起こったものであるという視点から、麻と綿がもたらすイギリス初期綿業の姿を詳細に描く。 978-4-623-06609-4

地中海帝国の片影

フランスとアルジェリアの19世紀

工藤晶人著

A 5判 448頁 8,190円 東京大学出版会〔3月刊〕

19世紀地中海世界における「ヨーロッパ」と「非ヨーロッパ」の交流と軋轢を描き出し、フランスが北アフリカに及ぼした影響から浮かびあがる「帝国」に迫る。 978-4-13-026144-9

ハプスブルク帝国の鉄道と水運

佐々木洋子著

A 5判 280頁 予価5,250円 刀水書房〔4月刊〕

新しいテクノロジーは19世紀オーストリアをどのように変えたか。蒸気機関車・蒸気船の発達をつぶさに追ひ、人々の時間・空間意識の変容を読み解く。 978-4-88708-412-4

新史料で読むロシア史

中嶋 毅編

A 5判 352頁 予価3,780円 山川出版社〔3月刊〕

ソ連時代の封印を解かれた膨大な史料に基づいて、新たな視点と方法で読み解くロシア現代史。多彩なテーマが変貌するロシアの歴史像を示す。 978-4-634-67227-7

魔女と魔女狩り

刀水歴史全書85

W. ベーリンガー著／長谷川直子訳

四六判 370頁 予価3,675円 刀水書房〔4月刊〕

「世界人口の大半が今も魔術を信じているだろう…」魔女や魔女狩りは人類の歴史の中で未だ完結してはいない。近年の研究に基づく新しい魔女論！ 978-4-88708-413-1

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

事典 神社の歴史と祭り

岡田荘司・笹生 衛編

A 5判 416頁 3,990円 吉川弘文館〔3月刊〕

古代より近世にいたる重要な50社と、近代に創祀された10社を厳選。歴史上に名を残した事蹟を詳述。祭りと年中行事一覧を付す。 978-4-642-08085-9

東アジア海域に漕ぎだす3

くらしが つなぐ 寧波と日本

小島毅監修 高津 孝編

A 5判 280頁 2,940円 東京大学出版会〔4月刊〕

海、河川、水路など、水に囲まれ、水に育まれてきた寧波の生活世界を多様なフィールドワークによって探り、日中の交流の歴史を、生活文化のつながりからときあかす。 978-4-13-025143-3

日本近現代人物履歴事典

第2版

秦 郁彦編

B 5判 680頁 31,500円 東京大学出版会〔4月刊〕

近現代の日本で顕著な社会的活動歴をもつ人物の年譜的履歴を一覧できる事典。今回の改訂で、200名余りの履歴を追加した。 978-4-13-030153-4

ドイツ正統史学の国際政治思想

見失われた欧州国際秩序論の本流

大原俊一郎著

A 5判 288頁 7,350円 ミネルヴァ書房〔4月刊〕

普遍主義の衝突のなかで生まれたランケにはじまるドイツ独自の正統な史学としての政治思想。本書はそれを解き明かし、現代の我々にとってその思想がどのような役割をもつのかを示す。 978-4-623-06612-4

「満蒙問題」の歴史的構図

中見立夫著

A 5判 304頁 6,300円 東京大学出版会〔4月刊〕

「満蒙」という地域概念はいかにしてつくられたか。モンゴル・日本・中国・ロシアの原典史料をしてその実態を語らしめる、近代東アジア政治外交史研究の大家による待望の一書。 978-4-13-026143-2

教如

東本願寺別立の道

大桑 齊著

四六判 220頁 2,520円

法蔵館〔4月刊〕

信長と戦い、秀吉に本願寺宗主の座を追われた教如が、東本願寺を創始するに至った叛逆の生涯とその理念とは。 978-4-8318-6224-2

増補改訂 近世真宗教団と都市寺院

上場顕雄著

A 5判 400頁 12,600円

法蔵館〔5月刊〕

近世真宗史研究の第一人者である著者が、長年にわたる研究成果をここに集大成。真宗教団の構造と近世大坂の真宗寺院の実態を解明。近世仏教史研究に問題を提起した1999年刊行に2本を新たに増補。 978-4-8318-5686-9

南北朝隋唐期佛教史研究

大内文雄著

A 5判 520頁 11,550円

法蔵館〔4月刊〕

隋～唐代において、仏教の正当性や重要性はどのように記述されたのか。同時代人の歴史観や仏教観を明らかにし、隋唐期の仏教の史的展開を詳論する。貴重拓影多数掲載。 978-4-8318-7284-5

日本人の地獄と極楽

読みなおす日本史

五来 重著

四六判 188頁 2,205円

吉川弘文館〔4月刊〕

日本人は他界を身近にあるものと考えていた。地獄と極楽、補陀落渡海など、仏教経典には説かれない日本人の信仰生活を解き明かす。 978-4-642-06393-7

芸能入門・考

小沢昭一・土方 鉄著

四六判 264頁 1,890円

明石書店〔3月刊〕

社会の最底辺で厳しい差別を受けながらも、それを逆手にとって民衆の生活に豊かな潤いを作りだしてきた日本の芸能。猿楽能、大道芸、放浪芸など、生活と労働に根差した芸能の原初の姿を追い求めて全国各地を歩き、その根源に迫る。978-4-7503-3801-9

古事記の構想と神話論的主題

村上桃子著

A 5判 264頁 6,300円

塙書房〔3月刊〕

上巻末に対応する構造を中巻末が有することを説き、また応神・仁徳・雄略条の歌謡を中心に分析し、古事記の上中下三巻構成が物語の中でどのように実現されたのかを考察する。 978-4-8273-0120-5

原本『古画備考』のネットワーク

古画備考研究会編

A 5判 498頁 9,660円

思文閣出版〔3月刊〕

活字本の蔭に隠れていた原本を解剖し、江戸時代後期に『古画備考』を〈書画情報〉総合集積の場としていた、古画研究ネットワークの実態を浮かび上がらせる。 978-4-7842-1674-1

宗達伊勢物語図色紙

羽衣国際大学日本文化研究所 伊勢物語絵研究会編

B 4変型判 220頁 19,950円 思文閣出版〔3月刊〕

「宗達伊勢物語図色紙」59面の全てをカラー、原寸大で掲載。色紙に描かれた伊勢物語の世界の解釈、伊勢物語絵巻・絵本との比較対照など、新たな知見を収める。 978-4-7842-1679-6

中国絵画総合図録 三編

第一巻 アメリカ・カナダ篇 I

小川裕充・板倉聖哲編

A 4変型判 420頁 39,900円 東京大学出版会〔3月刊〕

調査対象を中華民国期まで拡大し、未調査だったボストン美術館を加え、第一巻では18機関、約1380作品、写真4092枚を収録。中国美術史研究に必須の基本資料。 978-4-13-084201-3

浮世絵出版論

大量生産・消費される〈美術〉

大久保純一著

A 5判 244頁 3,990円

吉川弘文館〔3月刊〕

浮世絵が生み出された背景や、流通の在り方、盛り場や歌舞伎との関連から、大量生産・消費された、商品としての浮世絵の実態を描く。 978-4-642-07915-0

地震の社会史

安政大地震と民衆 読みなおす日本史
北原糸子著

四六判 384頁 2,940円 吉川弘文館〔3月刊〕

幕府の御救いや民間救済事業の実態、かわら版や鯉絵から復興を願う被災者の心性を探る。災害社会史の名著に、最新の研究成果を増補。 978-4-642-06392-0

医療の社会史

生・老・病・死
京都橘大学女性歴史文化研究所編

A 5判 304頁 2,940円 思文閣出版〔3月刊〕

医療の歴史的展開をめぐる論文集。平安時代から近代に至る日本を中心に、社会史の立場から通史的に医療の変遷をひもとく。歴史学と看護学を中心とした共同研究の成果。 978-4-7842-1677-2

早池峰岳神楽の継承と伝播

佛教大学研究叢書18
中嶋奈津子著

A 5判 234頁 4,830円 思文閣出版〔3月刊〕

早池峰神楽とは、岩手県早池峰山麓の集落に伝承する岳神楽と大償神楽の総称。本書では岳神楽と、その流れをくむ神楽に着目し、師弟構造と機能、継承と伝播を解き明かす。 978-4-7842-1676-5

雅楽を知る事典

遠藤 徹著

四六判 380頁 3,625円 東京堂出版〔3月刊〕

大陸から伝来し、古代国家形成期に発展した雅楽。その歴史から、楽曲・舞踏・楽器と演奏の実際を紹介する。雅楽に由来する儀礼や年中行事にも触れる。 978-4-490-10815-6

伝記

直木孝次郎 歴史を語り継ぐ

わたしの戦前・戦中・戦後
直木孝次郎著

四六判 240頁 2,625円 吉川弘文館〔3月刊〕

日本古代史の碩学が、予科練などの教官体験や特攻・天皇制などに言及し、平和の尊さを次代に語り継ぐ。社会・世相にも触れる。

978-4-642-08086-6

雑誌

日本歴史

4月号(第779) = 3月刊
5月号(第780) = 4月刊

日本歴史学会編集

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料8,300円〔送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い16,000円〔送料込〕

三年間前払い23,500円〔送料込〕

A 5判 146頁 各780円 吉川弘文館〔3・4月刊〕

学生・院生 一年間5,000円〔送料込〕

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴史書以外の――

人文社会図書新刊案内

2013. 3・4

— 明石書店 —

- スリランカを知るための58章 杉本良男、高桑史子、鈴木晋介編著……………四六判 2,100円 3月
現代イラクを知るための60章 酒井啓子、吉岡明子、山尾 大編著……………四六判 2,100円 3月

— 思文閣出版 —

- 日本の食の近未来 熊倉功夫編……………四六判 2,415円 3月
老舗に学ぶ京の衣食住 佛敎大学四条センター叢書5 西岡正子編……………A 5判 1,995円 4月

— 東京大学出版会 —

- グローバル経営戦略 元橋一之著……………A 5判 3,360円 3月
シリーズ福祉社会学2 闘争性の福祉社会学 ドラマトウルギーとして 副田義也編……………A 5判 3,675円 3月
記号論理学講義 基礎理論 束論と図論 知識論 清水義夫著……………A 5判 3,990円 3月
子どもから学ぶ教育学 乳幼児の豊かな感受性をめぐって 中田基昭著……………四六判 2,940円 3月
日本戦時経済研究 原 朗著……………A 5判 8,610円 3月
講義 民事訴訟 第3版 藤田広美著……………A 5判 3,990円 4月
新版 歌舞伎 河竹登志夫著……………A 5判 3,150円 4月
子どもと食 食育をめざす・食育を超える 根ヶ山光一・外山紀子・河原紀子編……………A 5判 3,675円 4月
事例による認知科学の研究法入門 Rコマンダーの活用と論文の書き方 齋藤美穂編……………A 5判 2,940円 4月
日本のクラスター政策と地域イノベーション 松原 宏編……………A 5判 7,140円 4月
国際文化関係系研究 平野健一郎・古田和子・土田哲夫・川村陶子編……………A 5判 8,190円 4月

— ミネルヴァ書房 —

- 殻 高橋伸夫著……………四六判 2,520円 3月
古今の名将に学ぶ経営戦略 デービッド・ロジャーズ著／松野 弘訳……………四六判 2,730円 3月
ゲーム理論と共に生きて 鈴木光男著……………四六判 3,675円 3月
不平等生成メカニズムの解明 佐藤嘉倫・木村敏明編著……………A 5判 6,300円 3月
西淀川公害の40年 宮本憲一・森脇君雄・小田康徳監修／除本理史・林 美帆編著……………A 5判 3,675円 3月
事故防止のための社会安全学 関西大学社会安全学部編……………A 5判 3,990円 3月
東日本大震災と社会学 田中重好・船橋晴俊・正村俊之編著……………A 5判 6,300円 3月
「時代診断」の社会学 金子 勇著……………A 5判 3,675円 3月
「グローバリズム」の歴史社会学 木村雅昭著……………四六判 3,675円 3月
ポピュラー文化ミュージアム 石田佐恵子・村田麻里子・山中千恵編著……………A 5判 3,675円 3月

人文社会図書新刊案内

歐米政治外交史 益田実・小川浩之編著	……………A 5判	3,360円	3月
ヨーロッパ統合正当化の論理 塚田鉄也著	……………A 5判	6,300円	3月
地方交付税の財源保障 星野菜穂子著	……………A 5判	6,300円	3月
高齢者雇用政策の日韓比較 李 崙碩著	……………A 5判	7,350円	3月
日韓企業主義的雇用政策の分岐 安 周永著	……………A 5判	5,775円	3月
英米児童文化55のキーワード 白井澄子・笹田裕子編著	……………A 5判	2,625円	3月
交錯する映画 加藤幹郎監修・杉野健太郎編著	……………A 5判	4,410円	3月
図書館制度・経営論 山本順一監修・安藤友張編著	……………A 5判	2,625円	3月
図書館情報技術論 山本順一監修・河島茂生編著	……………A 5判	2,940円	3月
グローバル金融資本主義のゆくえ 鳥谷一生・松浦一悦編著	……………A 5判	3,360円	4月
智恵なすわざの再生へ 鈴木晶子著	……………四六判	3,675円	4月
日米構造協議の政治過程 鈴木一敏著	……………A 5判	6,300円	4月
新・社会調査へのアプローチ 大谷信介・木下栄二・後藤範章・小松 洋編著	……………A 5判	2,625円	4月
「育メン」現象の社会学 石井クンツ昌子著	……………四六判	3,150円	4月
ライフコースからみた女性学・男性学 乙部由子著	……………A 5判	2,625円	4月
ユーラシア地域大国の持続的経済発展 上垣 彰・田畑伸一郎編著	……………A 5判	4,725円	4月
ユーラシア地域大国の統治モデル 唐 亮・松里公孝編著	……………A 5判	4,725円	4月

●お詫びと訂正

『歴史書通信』206号「新刊ニュース」掲載書目の内容説明文に誤りがございました。

9頁『近世郷村の研究』

お詫びして、下記のとおり訂正いたします。

近世郷村の研究

藤田和敏著

A 5判 264頁 9,450円

吉川弘文館〔2月刊〕

国家権力・個別領主支配、郷鎮守における祭祀組織、大工組・郷士集団との関連から郷村を分析して、近世の社会構造を捉え直す。

978-4-642-03455-5

2013年〔歴史書ベストフェア〕

出品／参加書店一覧

歴史のなかに ^{いま} 現在がある

明石書店

- F. ベアト写真集 1 F. ベアト撮影 横浜開港資料館編2,940円
 F. ベアト写真集 2 F. ベアト撮影 横浜開港資料館編2,310円
 写真で見る在日コリアンの100年 在日韓人歴史資料館編著2,940円
 韓国の歴史を知るための66章 金 両基編著2,100円

校倉書房

- 近世史料論の世界 藤田 覚著3,990円
 近世の政治思想論：『太平記評判秘伝理尽鈔』と安藤昌益 若尾政希著3,990円
 歴史学のナラティブ：民衆史研究とその周辺 成田龍一著5,040円

思文閣出版

- 増補 陰陽道の神々 斎藤英喜著2,415円
 正倉院宝物に学ぶ2 奈良国立博物館編2,625円
 日本の元気印・新島八重 本井康博著1,995円
 京都の歴史災害 吉越昭久・片平博文編2,415円
 京都 伝統工芸の近代 並木誠士・清水愛子・青木美保子・山田由希代編2,625円
 増補改訂 新島八重と夫、襄 早川廣中・本井康博共著1,260円
 八重さん、お乗りになりますか 本井康博著1,995円

東京大学出版会

- 日本美術の歴史 辻 惟雄著2,940円
 史学概論 遅塚忠躬著7,140円
 中国問題 毛里和子・園田茂人編3,150円

東京堂出版

- くずし字解読辞典（普及版） 児玉幸多編2,310円
 くずし字用例辞典（普及版） 児玉幸多編6,090円
 日曜日の歴史学 山本博文著1,575円
 新編 史料でたどる日本史事典 木村茂光・樋口州男編2,940円
 江戸衣装図鑑 菊地ひと美著・画3,570円

刀水書房

- インド社会と新仏教 山崎元一著2,310円
 日本の江戸時代 田中圭一著2,520円
 エリザベート―栄光と悲劇 マーティン・シェーファー著 大津留厚監訳 永島とも子訳2,100円

2013年歴史書ベストフェア出品一覧

白人とは何か? 藤川隆男編	2,310円
百年戦争 城戸 毅著	3,150円
人種差別の世界史 藤川隆男著	2,415円
もう一つのスイス史 クリストフ・ビュヒ著 片山淳子訳	2,625円
ドイツの歴史百話 坂井榮八郎著	3,150円
歴史を変えた火山噴火 石 弘之著	1,680円
歴史としての東日本大震災 岩本由輝編 岩本由輝・河野幸夫・菊池慶子・佐々木秀之執筆	2,310円

同 成 社

日本史年表・年号ハンドブック 阿部 猛編	1,260円
日本史日めくり年表 阿部 猛編	1,365円
講談 日本通史 大濱徹也著	2,940円
唐古・鍵遺跡 藤田三郎著	1,890円
天皇と日本の近代 大濱徹也著	1,995円
毅然たる孤独 野村乙二朗著	2,940円
日本の世界文化遺産を歩く 藤本 強著	1,890円
日本考古学の現在 山岸良二著	1,785円

埴 書 房

柳田國男の教育構想 関口敏美著	2,415円
日本中世の母性と穢れ観 加藤美恵子著	2,520円
読み継がれる史記 谷口 匡著	2,310円
呪術宗教の世界 速水 侑著	893円
平家物語の虚構と真実 上 上横手雅敬著	945円
平家物語の虚構と真実 下 上横手雅敬著	945円
平家の群像 安田元久著	945円

法 藏 館

中世勸進の研究 中ノ堂一信著	1,680円
修験道 宮家 準著	3,150円
足利義満と禅宗 上田純一著	2,100円
後醍醐天皇と密教 内田啓一著	2,100円
秀吉の大仏造立 河内将芳著	2,100円
アジアの仏教と神々 立川武蔵編	3,150円
ブータンと幸福論 本林靖久著	1,890円
歴史のなかに見る親鸞 平 雅行著	1,995円
インド・中国・朝鮮・日本 浄土教思想史 梯 信暁著	2,940円

ミネルヴァ書房

西洋の歴史基本用語集 [近現代編] 望田幸男編	2,100円
大学で学ぶ西洋史 [古代・中世] 服部良久・南川高志・山辺規子編著	2,940円
大学で学ぶ西洋史 [近現代] 小山哲・上垣豊・山田史郎・杉本淑彦編著	2,940円
俾弥呼 (ミネルヴァ日本評伝選) 古田武彦著	2,940円

「邪馬台国」はなかった(古田武彦・古代史コレクション①) 古田武彦著	2,940円
失われた九州王朝(古田武彦・古代史コレクション②) 古田武彦著	2,940円
邪馬壹国の論理(古田武彦・古代史コレクション④) 古田武彦著	2,940円
ゼロからの古代史事典 藤田友治・伊ヶ崎淑彦・いき一郎編著	3,990円

山川出版社

もういちど読む山川日本史 五味文彦・鳥海 靖編	1,575円
もういちど読む山川世界史 「世界の歴史」編集委員会編	1,575円
詳説日本史研究 特装版 佐藤 信 他編	3,500円
詳説世界史研究 特装版 木下康彦 他編	3,500円
レンズが撮らえた幕末明治日本紀行 岩下哲典編 小沢健志監修	1,680円
レンズが撮らえた幕末の女たち 小沢健志監修	1,680円
レンズが撮らえた幕末維新の志士たち 小沢健志監修	1,680円
河原ノ者・非人・秀吉 服部英雄著	2,940円
エピソードで読む世界の国243 エピソードで読む世界の国編集委員会編	1,890円

吉川弘文館

その後の東国武士団 関 幸彦著	1,785円
承久の乱と後鳥羽院 関 幸彦著	2,730円
江戸大名の本家と分家 野口朋隆著	1,785円
足利尊氏と直義 峰岸純夫著	1,785円
織田信長 池上裕子著	2,415円
関東の名城を歩く 北関東編 峰岸純夫・齋藤慎一編	2,310円
関東の名城を歩く 南関東編 峰岸純夫・齋藤慎一編	2,415円

2013年歴史書ベストフェア
参加書店一覧

2013年4月1日現在

北海道			
稚内市	クラーク書店	さいたま市 板山明文堂西浦和店	
千歳市	文教堂書店千歳店	さいたま市 ブックデポ書楽	
岩見沢市	喜久屋書店BOOKJAM岩見沢店	児玉郡上里町 文教堂書店本庄店	
岩手県			
奥州市	松田書店	越谷市 文教堂書店東越谷店	
秋田県			
秋田市	文教堂書店八橋店	東松山市 大東文化大学進明堂売店	
秋田市	いけだ書店御所野店	千葉県	
山形県			
山形市	こまつ書店鈴川店	成田市 マキノ書店駅前店	
山形市	こまつ書店桜田店	東京都	
山形市	こまつ書店寿町本店	世田谷区 田中堂	
山形市	こまつ書店西田店	世田谷区 文教堂書店経堂店	
天童市	宮脇書店天童店	世田谷区 成城堂	
米沢市	こまつ書店堀川町店	世田谷区 文教堂書店三軒茶屋店	
福島県			
白河市	文教堂書店新白河店	大田区 文教堂書店糞谷店	
相馬市	文芸堂相馬店	板橋区 文教堂成増店	
南相馬市	文芸堂原町店	千代田区 改造社書店丸の内国際ビル店	
茨城県			
潮来市	文教堂書店潮来店	杉並区 ブックセラーズ西荻	
古河市	文教堂書店総和店	神奈川県	
つくば市	WonderGOO新筑波店	川崎市 文教堂書店溝ノ口駅前店	
水戸市	文教堂書店水戸店	横浜市 文教堂書店横浜北山田店	
群馬県			
吾妻郡中之条町	戸田書店中之条店	横浜市 大里書店	
高崎市	戸田書店高崎店	横浜市 国学院大学生協たまプラーザ店	
高崎市	戸田書店榛名店	鎌倉市 文教堂書店大船モール店	
桐生市	戸田書店桐生店	鎌倉市 邦栄堂	
栃木県			
今市市	文教堂書店今市店	山梨県	
足利市	岩下書店	甲府市 朗月堂	
宇都宮市	いけだ書店宇都宮インターパーク店	長野県	
宇都宮市	いけだ書店宇都宮店	松本市 興文堂平田店	
埼玉県			
狭山市	文教堂書店狭山店	東筑摩郡山形村 興文堂アイシティ21店	
東京都			
さいたま市	板山明文堂西浦和店	小諸市 竹澤書店野岸店	
さいたま市	ブックデポ書楽	諏訪市 せいりん堂	
児玉郡上里町	文教堂書店本庄店	伊那市 ニシザワいなっせ店	
越谷市	文教堂書店東越谷店	静岡県	
東松山市	大東文化大学進明堂売店	伊豆の国市 文教堂書店大仁店	
新潟県			
新潟市	戸田書店新潟南店	浜松市 安間書店	
長岡市	文信堂長岡店	浜松市 本の王国浜松西店	
上越市	戸田書店上越店	富山県	
石川県			
富山市	文苑堂書店藤の木店	野々市市 うつのみや金沢工大前店	
富山市	明文堂新庄経堂店	野々市市 うつのみや上林店	
高岡市	文苑堂書店新野村店	金沢市 文苑堂示野本店	
高岡市	文苑堂福田本店	金沢市 金沢百番街うつのみや	
愛知県			
安城市	竹内書店	金沢市 ブック宮丸金沢南店	
名古屋市	文京堂書店	三重県	
名古屋市	正文館書店	津市 青山書店	
名古屋市	リブレット千種店	伊勢市 宮脇書店伊勢店	
名古屋市	リブレット太閤店	名張市 ブックスアルデ	
名古屋市	リブレット徳重店	四日市市 宮脇書店四日市店	
一宮市	リブレット木曾川キリオ店	鈴鹿市 宮脇書店鈴鹿店	
知多郡東浦町	リブレット東浦店	志摩市 作田書店うがた店	
岐阜県			
可児市	正文館書店可児広見店	滋賀県	
中津川市	梅村書店	湖南市 山本書店	
岐阜市	リブレットモセラ岐阜店	彦根市 太田書店	

2013年歴史書ベストフェア参加書店一覧

草津市	Book houseひらがき	和歌山県		徳島県	
高島市	芳文堂	田辺市	多屋孫書店	徳島市	井関書店
甲賀市	ブックショップ山川	橋本市	ツモリ西武店	徳島市	小山助学館本店
	京都府		兵庫県	徳島市	附家書店国府店
京都市	葵書房	姫路市	宮本書店	板野郡松茂町	附家書店松茂店
京都市	葵書房洛西店	姫路市	黒田書店		島根県
京都市	ブックバル文苑山科店	姫路市	大塚書店	浜田市	吉田屋書店
亀岡市	宮脇書店亀岡サティ店	加西市	西村書店		広島県
福知山市	AVIX福知山店	加古川市	宮脇書店加古川店	世羅郡世羅町	アオイ甲山店
舞鶴市	浪江書店		岡山県		山口県
	大阪府	笠岡市	宮脇書店新笠岡店	柳井市	明林堂書店柳井店
茨木市	ナカニヤ書店道手門大学書籍部	岡山市	宮脇書店平島店		大分県
茨木市	ロサヴィア虎谷	岡山市	大真屋書店新保店	別府市	明林堂書店別府本店
富田林市	喜久屋書店富田林店	岡山市	セルバ岡山店		宮崎県
枚方市	呼文堂枚方駅店	高梁市	開進堂高梁店	都城市	田中書店妻ヶ丘本店
東大阪市	栗林書房	総社市	荒木書店	都城市	田中書店川東店
堺市	ブックス・ファミリア	倉敷市	宮脇書店マルナカ今城玉島店	都城市	田中書店イオンモールミエ都城駅前店
	奈良県		香川県		鹿児島県
奈良市	たつみ書店サンタウン店	高松市	宮脇書店本店	鹿児島市	ジェンク堂書店鹿児島店
奈良市	豊住書店	坂出市	宮脇書店坂出白金店		沖縄県
奈良市	啓林堂書店西大寺店		高知県	豊見城市	戸田書店豊見城店
奈良市	啓林堂書店奈良店	高知市	金高堂朝倉B・C		

歴史書懇話会とは

1968年6月に歴史書を刊行する有志出版社7社で結成され、現在16社が加盟しています。結成以来40年余「すぐれた歴史書の普及とその販売を積極的に推進する。本会はその目標達成のため、会員相互の協力によって必要な研究ならびに事業を行う。」(会規約)の精神に基づき活動しています。

＜歴史書懇話会＞の主な事業

「歴史書通信」(隔月刊) 最新の歴史書情報を提供しています!

会員各社の新刊・重版情報、誌上フェア、書店情報を掲載する出版情報誌。歴史関連のエッセイなども掲載し、歴史知識の普及をはかっています。ご購入を希望される方は最寄の書店を通して、事務局までお申込み下さい。

「歴史書ベストフェア」 小規模書店にも本格派の歴史書を!

全国約180書店で会員社の歴史書80冊余を1年間展示販売しています。選択セットを加え、最大規模は190冊のセットとなります。出品リスト及び販売店一覧は「歴史書通信」5月号に掲載します。

「特設店」 全国に21拠点、専門書の充実した品揃えが魅力です!

特設店を設けて、歴史専門図書の店頭展開をはかっています。現在、全国主要都市に21店の特設店があり、一般書店では展示販売できない歴史専門書の店頭販売に協力をお願いします。特設店では多くの新刊・常備品を揃えるとともに、テーマフェア、各社フェアを随時開催しています。

「歴史リバイバル」 毎年秋の復刊書フェアとして大好評いただいています。

毎年5月に統一復刊・重版事業「歴史リバイバル」を実施しています。一社では困難な専門書の復刊・重版を共同で行う活動です。読者から要望の多い名著や基本図書を復刊し、特設店を中心に毎年100店近い書店・大学生協で店頭フェアを展開しています。

「ホームページ」 & 「メール通信」 による情報発信

当会のホームページでは、新聞書評情報、歴史書の検索、書店フェアや各社の新刊案内、特設書店とのリンク、歴史書懇話会からメール通信を配信するメールアドレス登録の受付、「歴史書通信」PDF版などを掲載しています。メール配信のお申込みは <http://www.hozokan.co.jp/rekikon/> からお願いします。

会員社 青木書店・明石書店・校倉書房・学生社・汲古書院・思文閣出版・
新人物往来社・東京大学出版会・東京堂出版・刀水書房・同成社・
塙書房・法蔵館・ミネルヴァ書房・山川出版社・吉川弘文館

歴懇リバイバル2013

共同復刊企画

- *名著・貴重書・基本図書を復刊！
- *日本史を中心に宗教史、文学、伝記など幅広いラインナップ！
- *いずれも少部数の復刊です。お早めにご注文下さい！
- *復刊書目は2013年4月1日現在5社21点。

主催：歴史書懇話会

発売：2013年5月下旬

東京大学出版会 03-3811-8814 法 藏 館 075-343-5656
刀 水 書 房 03-3261-6190 塙 書 房 03-3812-5821
吉 川 弘 文 館 03-3813-9151

※著者名につづく () は初版年、出版社名につづく [] は分類を示します。

※価格は予定価格です。

武士の成立 武士像の創出

高橋昌明著 (1999)

A 5判 360頁 5,460円 東京大学出版会〔日本中世史〕

通説的な武士像と貴族像がいかに創出されたか、史学史的な観点からの検討を加える、意欲的な論集。

978-4-13-020122-3

明治国家と宗教

山口輝臣著 (1999)

A 5判 384頁 6,300円 東京大学出版会〔日本近代史〕

明治国家は宗教をどのように位置づけてきたのか。そして、20世紀に入り宗教がどのように語られてきたのかを言説の次元で分析する。

978-4-13-026601-7

初期中世社会史の研究

戸田芳実著 (1991)

A 5判 344頁 6,510円 東京大学出版会〔日本中世史〕

荘園の農民、京都の住人、そして水辺の領主たち。武士発生の根源をつき、王朝国家の形成をあとづける。

978-4-13-020099-8

良寛の実像—歴史家からのメッセージ—

田中圭一著 (1994)

四六判 239頁 2,520円 刀水書房〔日本史〕

捏造された「家譜」や無責任な小説や教訓の類がいかに良寛像を過ったか！人間良寛の苦悩を追って、その実像に到達した歴史としての良寛伝。

978-4-88708-411-7

ゾロアスター教の興亡

—サーサーン朝ペルシアからムガル帝国へ—

青木 健著 (2007)

A 5判 377頁 8,925円 刀水書房〔宗教史〕

著者は今、日本を代表するゾロアスター教研究者。文献と同時に拝火神殿など写真資料によるイラン現地調査の解説は、関心のある一般読者にも読みやすい。

978-4-88708-357-8

日本古代の税制と社会

今津勝紀著 (2012)

A 5判 422頁 8,925円 塙書房〔日本史〕

日本古代の国家と社会を結節する租税現象に注目し、税制の検討を通じて国家の構造を明らかにすると共に、古代国家を支える社会組織のあり方を復原する。

978-4-8273-1254-6

律令官僚制の研究(オンデマンド版)

吉川真司著 (1998)

A 5判 526頁 10,500円 塙書房〔日本史〕

律令官僚制を形づくる諸制度を総体的に把握し、儀式・政務・文書といった新しい分析素材を用い、日本古代政治の実態と規範を解明すると共に歴史の変遷を追う。【OD版につき注文扱】

978-4-8273-1655-1

平安宮成立史の研究(オンデマンド版)

橋本義則著 (1995)

A 5判 470頁 9,450円 塙書房〔日本史〕

古代の都城・平安宮の形成過程とその歴史的背景・意義及び影響を解明し、奈良から平安への移行過程とその実態を通して、平安時代の歴史像の再構築を試みる。【OD版につき注文扱】

978-4-8273-1656-8

中世荘園制と鎌倉幕府(オンデマンド版)

高橋一樹著 (2004)

A 5判 474頁 9,450円 塙書房〔日本史〕

中世荘園の成立は知行国制度を母体として形成されたという、新たな概念としての「中世荘園制」を提起。また、鎌倉幕府成立後に国家権力の変質と連動し、その領有体系が変容する過程をも詳細に論ずる。【OD版につき注文扱】

978-4-8273-1657-5

古佛

井上 正著 (1986)

B 5判 230頁 9,975円 法蔵館〔美術史〕

関西を中心に30余りのお寺の秘仏を300点近い貴重な写真で紹介。1986年に刊行した初版を装幀を新たに復刊。

978-4-8318-6408-6

鎌倉幕府軍制と御家人制

高橋典幸著 (2008)

A 5判 330頁 9,975円 吉川弘文館〔日本中世史〕

中世の国制の中での、幕府と軍事の関わりや展開とは。京都大番役や「某跡」賦課方式など、御家人制の諸相から幕府の特質を解明する。
978—4—642—02878—3

室町幕府と守護権力

川岡 勉著 (2002)

A 5判 378頁 8,925円 吉川弘文館〔日本中世史〕

中世後期の室町幕府は、中央権門＝幕府と地域権力＝守護が、相互に補完し合い成立していた。その実態を解明し、歴史的意義を探る。
978—4—642—02814—1

水戸学と明治維新

歴史文化ライブラリー150

吉田俊純著 (2003)

四六判 240頁 1,785円 吉川弘文館〔日本近代史〕

幕末、尊王攘夷の国体論を打ち立てた水戸学。会沢正志斎らの思想と行動に迫り、維新の思想的推進力となった水戸学を問い直す！
978—4—642—05550—5

倭国と渡来人

歴史文化ライブラリー199

田中史生著 (2005)

四六判 234頁 1,785円 吉川弘文館〔日本古代史〕

古代日本の「外」からやって来て、列島に影響を与えたといわれる渡来人。民族・国境を超え、日本史像を強く揺さぶる東アジア交流史。
978—4—642—05599—4

赤松円心・満祐 人物叢書(新装版)

高坂 好著 (1970)

四六判 336頁 2,310円 吉川弘文館〔伝記〕

円心の挙兵、満祐の將軍弑逆、政則の家運再興等一赤松一族興亡の歴史を代々の事蹟を追って描く。
978—4—642—05130—9

行基 人物叢書(新装版)

井上 薫著 (1959)

四六判 252頁 1,995円 吉川弘文館〔伝記〕

諸国行脚の傍ら、橋を架け道を造り布施屋を設け池を掘る等、社会事業史に輝く奈良時代高僧の伝。
978—4—642—05091—3

菅原道真 人物叢書(新装版)

坂本太郎著 (1962)

四六判 204頁 1,785円 吉川弘文館〔伝記〕

学者から右大臣に昇り、讒にあって流謫、大宰府に死す。時代と併せ描く学問の神「天神様」の実伝。
978—4—642—05181—1

徳川綱吉 人物叢書(新装版)

塚本 学著 (1998)

四六判 328頁 2,205円 吉川弘文館〔伝記〕

犬公方・綱吉は名君か暗君か、それとも単なる偏執狂だったのか。毀誉褒貶の雑説にまみれた、日本史上、最も評価の分れる將軍の生涯を描く。
978—4—642—05210—8

畠山重忠 人物叢書(新装版)

貫 達人著 (1962)

四六判 240頁 1,890円 吉川弘文館〔伝記〕

鎌倉武士の典型、美談に富む誠実礼節の勇士。遂に北条氏に滅ぼされる、数奇な生涯を鮮やかに綴る。
978—4—642—05072—2

吉備真備 人物叢書(新装版)

宮田俊彦著 (1961)

四六判 288頁 2,100円 吉川弘文館〔伝記〕

入唐留学19年、広範な新知識を得て帰朝、累進して右大臣に昇る。異数な生涯を時代と共に描く。
978—4—642—05129—3

由比正雪 人物叢書(新装版)

進士慶幹著 (1961)

四六判 247頁 1,995円 吉川弘文館〔伝記〕

楠流軍学者。浪人充満の不穏な世相をバックに丸橋忠弥らと結託、幕府転覆を企て計破れた快雄の伝。
978—4—642—05037—1

◆恒例の秋の共同復刊フェア「歴懇リバイバル」が初夏になります

20年続けてまいりました秋の共同復刊フェア「歴懇リバイバル」を、今年から初夏に変更致します。5社21点の強力ラインナップ(!)で、6月上旬より全国の主な書店さんの店頭で展開準備中です。読者の皆さま、本誌21頁～23頁に復刊の書目一覧を掲載しております。フェア開催の書店さんにつきましては、次号でお知らせいたします。書店の皆さま、今年も是非「歴懇リバイバル」にご参加をお願い致します。雑誌『日本歴史』(吉川弘文館)『歴史評論』(校倉書房)の6月、7月号に広告を掲載致します。

◆月代わりで開催中の「歴史書懇話会・今月のオススメ30冊」の連続ミニフェア

新たに神保町の岩波ブックセンターさんでも始まりました。

◇天童市 TENDO 八文字屋 (2006年7月) / ◇新潟市紀伊國屋書店新潟店 (2007年8月) / ◇松江市今井書店グループセンター店 (2008年6月) / ◇さいたま市ブックデポ書楽 (2009年9月) / ◇新宿区芳林堂書店高田馬場店 (2010年4月) / ◇千代田区岩波ブックセンター (2013年4月) (以上、かっこ内の数字はフェア開始の日付)

◆青木書店休会 歴史書懇話会発足の翌年1969年以来、43年余り活動を共にしてきました青木書店が休会となりました。

◆経済産業省「コンテンツ緊急電子化事業」で昨年からの3月末までに、約6万点の本が電子化されました。ご存知の方も多い事でしょう。単なる情報だけなら、電子化の方向は必至の事です。けれども、読んで味わい・考えるための本は違うように思います。

「…新聞については、ネットのニュースで十分だろうと言われそうだけど、…ニュースの大きさとかその位置がわからないし、紙面の広告を見届けることもできない。年末の衆院選挙のとき、大きな政党の、目がくらくらするほどの全面広告がくり返し掲載されていたが、そんなこともわからなくなる。…」(『日経』2013. 1. 13) この津島佑子の言葉を目にして、同感。新聞の紙面そのものから沢山の事を読み取っている事を実感します。

「丸い粒子が集まって画を構成するフィルムに対し、デジタルは四角のドット。フィルムは微妙な空気感を表現でき、デジタルはクリアな画作りに優れる。『粒状性のあるフィルムは光と影を描くことができる。おなじものを映し続けても、見る人の想像力をかき立てる』…」(『日経』2013. 1. 26) 文化欄の記事「消えゆくフィルム映画」を読んで思いました。電子書籍は「デジタルコンテンツ」と本の中身を呼んでいるだけあって、綺麗に見えますが、それだけではつまらない。私には沢山の気配を感じ取ることが出来る本の方が、似合っているようです。

アメリカで人気のブックデザイナー、チップ・キッドが言っていました。「私はページの隅を折る読書好きな装丁家、余白にメモをし、インクの匂いを嗅ぐ…」(『スーパープレゼンテーション』Eテレ2013. 4. 8)。

ヒトに生まれた私たちは「考える力」に恵まれています。その力は文字を読む、本を読むことで深められてきたと感じています。流れる情報を得るのはデジタルデータが最適ようです。けれど、読みながら考えることを楽しむために、本がこれからも私たちの傍らに必要だと思っています。もちろん、何千年も先の遠い未来を見据えた時には、今が過渡期だと感じます。だからこそ、私たちは今、本のありかたについて考え続けながら、本を作ってゆきたいと思います。(NF)

歴史としての

東日本大震災

口碑伝承をおるそかにするなかれ

1月31日
刊行

歴史としての
東日本大震災



岩本由輝編（執筆者） 岩本由輝・河野幸夫・菊池慶子・佐々木秀之
東北に暮らす歴史家三人と科学者一人が、体験をもとに大震災を歴史の中に位置づける。シミュレーションによる「安全神話」より、地元の言伝えの方が、はるかに人々の身を守る知恵になっていたことを、史料を駆使し検証。

A5 二四〇頁 〃三一〇

ハプスブルク帝国の鉄道と汽船

佐々木洋子著 新しいテクノロジーは19世紀オーストリアをどのように変えたか。人々の時間・空間意識の変容を読み解く

A5 二八〇頁 〃五二五〇

十字軍の歴史

A・ジヨティシユキ／森田安一訳 万水歴史全書86

初めての本格的通史。戦いは繰返し失敗したのに、懲りずに続いた十字軍の魅力が明かされる 四六 四五〇頁 予価〃四〇九五

魔女と魔女狩り

W・ペーリンガー／長谷川直子訳（万水歴史全書87）

魔女や魔女狩りは人類の歴史の中で未だ終わってはいない！最近の研究に基づく新しい魔女論！ 四六 四〇〇頁 予価〃四〇九五

良寛の実像

歴史家からのメッセージ

田中圭三著 捏造された「家譜」や無責任な小説・教訓が良寛像を過まらせた！ 20年前の本書が万水歴史全書として復活（万水歴史全書85） 四六 二三九頁 〃五二〇

ゾロアスター教の興亡

サーサーン朝ペルシアからムガル帝国へ

青木 健著 著者は今、日本を代表するゾロアスター教研究者。文献と同時に拝火神殿など写真資料によるイラン現地調査の解説は、関心のある一般読者にも読みやすい

A5箱 三七七頁 〃八九九五

近刊予定

歴史リバイバル

好評発売中

ドイツの歴史百話

坂井榮八郎著（万水歴史全書84）

「ドイツ史の語り部」を自任する著者が、半世紀を超える歴史家人生で出会った人、出会った事、出会った本、そしてさまざまな歴史のエピソードなどを、百のエッセイに紡いで時代順に語ったユニークなドイツ史！ 四六 三三〇頁 〃三一五〇

身分社会と市民社会

一九世紀ハンガリー社会史

ケウエル・ジェルジ／平田武訳 ハンガリー社会史学界を代表する著者による、ブダペシュト大学のハンガリー近現代社会史講義。同国社会史研究最新の成果 A5 三五〇頁 〃四八三〇

中世ブリテン諸島史研究

ネイション意識の諸相

有光秀行著 ノルマン・コンクエストから13世紀まで、イングリッシュと周縁世界の歴史的發展を「ネイション」意識を鍵として解明 A5箱 二九〇頁 〃六八二五

中世後期のセルビアとボスニアにおける君主と社会

王冠と政治集会

唐澤晃一著 12〜15世紀、両国の王権と貴族層の権力関係や支配層の統治理念を分析、同時代西欧諸国との共通点・相違点を解明する A5箱 三〇〇頁 〃六八二五

【価格は税込】
〒101-0065 千代田区西神田2-4-1
東方学会会本館

刀水書房

tel. 03-3261-6190 fax. 03-3261-2234
http://www.tousuishobou.com

身分的周縁と地域社会

「史学会シンポジウム叢書」

塚田孝・吉田伸之編 A5判 320頁 4410円
近世の寺院・神社社会の内部構造を明らかにし、新たな近世社会像を描く。

鴨長明伝

五味文彦著 四六判 320頁
1890円

大地震・飢饉・大火・辻風などの世の不思議を記した「方丈記」。人びとは、いかにして災害に立ち向かったのか。長明の生き様とともに読み解く。



新視点 三重県の歴史

毎日新聞社津支局編 四六判 296頁 1890円
伊勢の遷宮の歴史、東国武士との戦い、県名の由来から貴重な動植物など…三重県にまつわる103の物語を紹介する。

「かんていざむ」シリーズ最新刊!

もういちど読む 山川日本近代史

鳥海靖著 A5判 272頁十口絵8頁 1575円
国際社会のなかの日本という視野に立って、開国から敗戦に至る歩みをおさらいする。コラムや図版を織り交ぜながら読み解く、社会人のための教科書。

新シリーズ 世界史リブレット 人と全100巻

世界史を象徴する魅力に富んだ人物を厳選し、その人物の動きを通して時代の実像に迫る。新しい切り口で人物を描く新シリーズ。

5 アレクサンドロス大王

— 今に生き続ける「偉大な王」

澤田典子 現代においてもなお圧倒的な存在感を放つ「偉大なる王」アレクサンドロス。父フィリポス2世との関係を軸に、神話と伝説に包まれた彼の実像を探る。

10 孔子

— 我、戦えば則ち克つ

高木智見 孔子の「仁」の思想はどのようにして誕生したのか。伝来文献と出土史料の両者をもとに、春秋末期動乱の時代における兵法の精神との関わりから明らかにする。

29 カール大帝

— ヨーロッパの父

佐藤彰一 カール大帝が「西ローマ皇帝」を戴冠した決意とその意図をさぐることに、西欧社会の国家統治経済外交の仕組みが成立していく過程を紹介する。

46 パープル

— ムガル帝国の創設者

間野英二 インドにムガル朝を創設したパープルの時代の中央アジア・南アジアの動きを追うとともに、回想録「パープルナーマ」を通して彼の人間の魅力をさぐる。

65 ビスマルク

— ドイツ帝国の建国者

大内宏一 激しい政治的対立の渦中に身をおきながらドイツの国家統一を導いたビスマルク。彼の帝国建設にいたる道筋を追う。

第1回刊行(2013年4月/5冊同時) A5判変型 平均100頁 各税込840円

山川出版社

東京都千代田区内神田 1-13-13

(表示は税込)

電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp>

伊勢神宮・鹿島神宮・出雲大社・春日大社・石清水八幡宮
 鶴岡八幡宮・熊野大社・靖国神社・明治神宮……
 いま、日本人にとって神社・神道とは？

事典 神社の歴史と祭り

岡田莊司・笹生 衛編
 3990円
 古代より近世にいたる重要な五十社と、近代に創祀された十社を厳選し、歴史上に名を残した事蹟を詳述。年中行事と祭り一覽表など、付録も充実。



敗者の日本史 全20巻刊行中 各27300円

⑤ 治承・寿永の内乱と平氏

元木泰雄著

敗北を必然とする「平家物語」等の通説的歴史観を克服し、知られざる源平合戦の真実に迫る。(第7回)



⑦ 鎌倉幕府滅亡と北条氏一族

秋山哲雄著

北条氏が整備した幕府の機構を通り、武家政権の礎を築いた。敗者の評価に改めて光をあてる。(第8回)



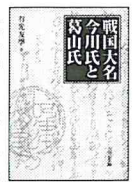
地震の社会史

安政大地震と民衆

北原糸子著
 29400円
 幕末の大震災から学ぶ災害情報と救済活動の実態。最新成果を増補。
 五来 重著
 22050円
 日本人の地獄と極楽
 私教経典には説かれない日本人の信仰生活を解き明かす名著復刊！

戦国大名 今川氏と葛山氏

有光友學著
 3990円



幕長戦争

三宅紹宣著
 3255円

江戸幕府崩壊の端緒となった幕長戦争。兵力数・装備で勝る幕府軍を破った長州藩の秘められた勝因とは。(日本歴史叢書69)
 奇兵隊隊士 (本書より)
 駿遠地域を領した両氏の権力編成や支配機構の実態を探り、動向やあり様に迫る。

浮世絵出版論

大量生産・消費される「美術」

大久保純一著
 3990円
 販売・流通から盛り場や歌舞伎の人気作まで。絵師と絵草紙屋の舞台裏と。商品としての実態を描く。



直木孝次郎 わたしの戦前・戦中・戦後
 歴史を語り継ぐ
 2625円
 日本古代史の碩学が自らの歴史随想に込めた次代へのメッセージ！

ロングセラー 新年度版
 日本史年表・地図
 1365円
 世界史年表・地図
 1470円
 亀井高孝・三上次男・林健太郎 堀米庸三編

環境の日本史
 全5巻刊行中
 ① 日本史と環境―人と自然― 平川 南編 4515円
 ② 古代の暮らしと祈り 三宅和朗編 5040円
 ③ 中世の環境と開発・生業 井原今朝男編 5040円
 ④ 人々の営みと近世の自然 水本邦彦編 5040円

吉川弘文館

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-2-8
 電話 03-3813-9151 (代表)

最新「出版案内」送呈
 FAX 03-3812-3544 / 価格は5%税込
<http://www.yoshikawa-k.co.jp/>

歴史書懇話会

会員社名簿

- 青木書店 175-0092 板橋区赤塚8-12-12 (板橋営業所)〈休会〉
TEL. 03-5997-4051 FAX. 03-5967-7691
- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5〈担当者・曾我隆一〉
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3〈担当者・石田 亘〉
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 学生社 123-0864 足立区鹿浜3-27-14〈休会〉
TEL. 03-3857-3031 FAX. 03-3857-3037
- 汲古書院 102-0072 千代田区飯田橋2-5-4〈担当者・宮崎 淳〉
TEL. 03-3265-9764 FAX. 03-3222-1845
- 思文閣出版 605-0089 京都市東山区古門前通大和路東入元町355〈担当者・井熊勇介〉
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 新人物往来社 102-0083 千代田区麹町3-2相互麹町第一ビル〈休会〉
TEL. 03-3221-6031 FAX. 03-3221-6641
- 東京大学出版会 113-8654 文京区本郷7-3-1 (東大構内)〈担当者・角田光隆〉
TEL. 03-3811-8814 FAX. 03-3812-6958
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17〈担当者・鈴木 淳〉
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1〈担当者・中村文江〉
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8〈担当者・榎 祐典〉
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷6-8-16〈担当者・関口守俊〉
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入〈担当者・西村明高〉
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 [本社] 607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1
TEL. 075-581-0296 FAX. 075-581-0589
[東京支社] 101-0052 千代田区神田小川町2-4-17 大宮第一ビル6F
TEL. 03-3296-1615 FAX. 03-3296-1620(担当者・杉田信啓)
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13〈担当者・大壽賀翔〉
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8〈担当者・横井真木雄〉
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2013年5月1日発行・第207号

発行 **歴史書懇話会**

〒113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店